

各位

株式会社うるる  
(証券コード：3979)

## 「Peing-質問箱-」および投資家・アナリストの皆さまよりいただいた Q&A 公開のお知らせ

株式会社うるる（東京都中央区 代表取締役社長：星 知也）は Digital monkey 株式会社の提供するインターネットサービス「Peing-質問箱-」を用いて IR にかかる Q&A を実施いたしました。投資家・アナリストの皆さまより頂戴した主要なご質問と合わせて、下記の通り結果を公開いたします。

### ■Q&A 実施概要

利用ツール：「Peing-質問箱-」(<https://peing.net/ja/>)

実施期間：8月21日(水)～9月2日(月)

※現在は質問の受付を締め切っております。

なお、本 Q&A は「QAstaion」にも掲載しております。

「QAstaion」では今回のご質問の他、決算説明会や IR セミナー等でいただいた Q&A も公開しております。そちらも併せてご覧くださいませ。

QAstaion URL：<https://www.qastation.jp/9f62ef3e6cb24d48a30a6510285206fb>

### ●全社的な事項にかかる質問について

流動性も乏しくそれに伴い株価も低迷、今のお気持ちを願います。



株式会社うるるIR

♡ 0

足元の株価は、中長期の継続成長を目的とした投資による2025/3期の減益計画、8月頭に起きた株式市場全体の急落を反映したものと、流動性は当社への注目度の現れと受け止めています。継続的な成長および成長スピードの底上げ、そして適切な情報発信を行うことで注目度を高め、企業価値の向上を通じた株式価値の上昇を目指していきたいと考えています。

現状の株価は2025年3月期以降の経営方針を発表する前の水準と比べると惨憺たるものであり、貴社の経営方針は株主の期待と乖離した内容であったのではないかと推察されます。（利益を毀損する事のない規律ある成長を多くの株主は期待していたのではないのでしょうか。）貴社として夢を追いかける事自体を否定するものではありませんが、株主の期待を裏切り結果的に負担を強いている現状に対してどのようにお考えでしょうか。株主に負担を強いるのであれば、経営陣も同じように株式を追加取得し、結果（株価）にコミットされるべきではないでしょうか。

一例として、2023年11月にSansan社に1株1,937円で経営陣が一部の株式を売却された経緯も不信感に繋がっているのではないかと考えております。



株式会社うるるIR

♡ 0

足元の株価は、中長期の継続成長を目的とした人的資本投資等による2025/3期の減益計画、8月頭に起きた株式市場全体の急落を反映したものと受け止めています。継続的な成長を図っていくこと、そしてM&A等を通じて成長スピードを上げることを通じて企業価値の向上を図り、株式価値の上昇を目指すことで株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えています。なお、2023年11月にSansan社と資本業務提携を行っておりますが、新株発行により希薄化を生じさせるよりも既発行株式を譲渡する方が望ましいと判断しました。

利益成長は本当に実現できますか？  
そこが信用されていないから株価が冴えないので  
はないでしょうか。



peing.net



株式会社うるIR

♡ 0

現在開示している中長期方針の下で投資を行いつつ、売上高および利益ともに毎期継続的に成長させていくことで、中長期で企業価値・株式価値を向上させていきたいと考えています。具体的な中長期方針やキャッシュフローに関する考え方は、2025年3月期 第1四半期 決算説明資料のP.39-46をご覧ください。  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym2/161891/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir_material_for_fiscal_ym2/161891/00.pdf)

貴社の大引け後の気配に（大引け後に限りませんが）違和感があります。

売り板は全体で1万株程（出来高も4,000株程）なのに対して4,600株の売り板が1,311円に並んでおり、ここ最近似たような状況が続いている気がします。このような事は良くあるものなのでしょうか。

貴社に質問する話ではないかもしれませんが、素朴な疑問として投稿させていただきました。



peing.net



株式会社うるIR

♡ 0

自社株式の値動きや板は毎日見ているのですが、投資家の皆様による市場での発注について発行体として関与できることはなく、コメントのしようがありません...  
m(\_)\_m

自社株買いに関して、以前「自社株買いの原資となる会社法上の分配可能額としては大きなものとはならないため、現時点において自社株買いは予定しておりません」と回答されておりましたが、分配可能額として大きなものになるか否かの判断は連結ベースで検討されるという理解で宜しいでしょうか。（親会社単体では利益剰余金が少ない場合でも、今期中に子会社から配当を受ける事で調整可能であると理解しております。）

具体的には、前期末の連結利益剰余金753百万円に対して、配当242百万円を差し引いた511百万円に近い金額は、少なくとも今期の分配可能額の規模感を判断する際の基準になるのでしょうか。



peing.net



株式会社うるIR

♡ 0

子会社からの配当を受けるなどにより、当社単体の分配可能額を増やすことは、ご認識の通り理論上可能です。ただ、子会社のキャッシュポジションや運転資金などを加味する必要があり、その上での具体的な検討は現時点では行っておりません（これは、将来における実施検討を否定するものではありません）。なお、ご質問中の引用元のURLは以下の通りです。<https://peing.net/ja/q/a049357d-93b3-4106-b4ab-59bd47e7ffbb>

自社株買いに関して、「子会社のキャッシュポジションや運転資金などを加味する必要があり、その上での具体的な検討は現時点では行っておりません」とご回答いただきましたが、連結ベースでキャッシュが潤沢にある以上は、インターカンパニーローンなどにより各社のキャッシュポジションは調整できると理解しており、具体的な検討を行わない理由にはならないのではないのでしょうか。

今回のように株価が大きく下落しているタイミングで検討せずに、どのようなタイミングで具体的に検討されるのでしょうか。（どのような条件が満たされれば検討されるのか、CFOとしての明確なお答えを期待しております。）



peing.net



株式会社うるIR

♡ 0

うるる本体や子会社において、開示に至らないものも含めて様々な事業投資やM&A案件の検討が常に存在していますが、そういった様々な企業価値・株式価値向上のための方策がある中で、自社株買いもその内の一つとして優先順位をつけた上で、中長期的視点を持って検討することになります。

自社株買いに関する回答は、当初子会社の運転資金に言及された後に優先順位の話をされるなど、あまり一貫性がないと感じました。そもそも貴社は自己株式を取得してもキャッシュは十分に残るはずですし、追加借入余力もあるはず。事業投資やM&A案件を実行される際に資金調達できれば十分ではないでしょうか。

また、ご存知の通り、自社株や現金との混合対価によるM&Aも実務上可能です。敢えて申し上げるまでもないとは思いますが、株価が低迷した際に自己株式を取得し、株価が回復したタイミングでM&Aの対価として同株式を活用すれば、継続保有株主にとっても大きなメリットになります。

情報発信だけではなく、ファイナンス手法も駆使して株式価値を高めるのがCFOの役割だと思います。

もしこれだけ株価が下落しているにも関わらず、リターンが出るか定かではないM&Aなどの投資案件との比較されて自己株式取得の優先度が低いとお考えなのであれば、貴社のレベルに大きな不安を覚えます。ぜひ具体的な検討をお願いいたします。

 peing.net



株式会社うるるIR

♡ 0

当社はまだまだ成長途上の企業であると認識しており、利益の一部を配当で株主の皆様へ還元しつつ、M&Aを含む成長投資を積極的に行うことで成長を続け、毎期増配と株式価値向上を目指していきたいと考えています。うるる本体や子会社において、開示に至らないものも含めて様々な事業投資やM&A案件の検討が常に存在していますが、そういった様々な企業価値・株式価値向上のための方策がある中で、自社株買いを含むファイナンス手法もその内の一つとして優先順位をつけ、中長期的視点を持って検討することになります。具体的な中長期方針やキャッシュアロケーションに関する考え方は、2025年3月期 第1四半期 決算説明資料のP.39-46をご覧ください。  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym2/161891/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir_material_for_fiscal_ym2/161891/00.pdf)

 peing.net



株式会社うるるIR

♡ 0

ありがとうございます！球団を所有できるくらいの規模まで成長していけるよう頑張ってます！！！！

もっともっと成長して某球団のバックネット裏に広告出してください！楽しみにしてますw

貴社のキャッシュポジションや借入余力なども踏まえ、配当性向15%は低すぎるのではないのでしょうか。

今期の大幅な純利益の減少と配当性向15%が2重に影響した結果、株主の実感としてあまりに配当額が低くなっていると感じます。株主の声（株価）にもう少し耳を傾けていただけないのでしょうか。

 peing.net



株式会社うるるIR

♡ 0

当社はまだまだ成長途上の企業であると認識しており、利益の一部を配当で株主の皆様へ還元しつつ、M&Aを含む成長投資を積極的に行うことで成長を続け、毎期増配と株式価値向上を目指していきたいと考えています。株主還元とキャッシュアロケーションの詳細については、2024年3月期 決算説明資料のP.57,58をご覧ください。  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym2/155642/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir_material_for_fiscal_ym2/155642/00.pdf)

取締役の報酬総額127,279千円のうち10,820千円と大半が固定報酬になっております。

取締役は株価の大幅な下落に対して一定の責任があるはずであり、報酬総額の削減と株式報酬比率の大幅な増加を検討されるべきではないでしょうか。

こちらは株主としてのきしめにたいする率直な想いであり、回答を開示いただく必要はありませんが、株主の一意見として受け止めていただければ幸いです。

 peing.net



株式会社うるるIR

♡ 0

ご意見をいただきましてありがとうございます。役員報酬は、規模や業種の近い他社の状況や人材市場の動向等を踏まえて検討を行っており、過去には2019年5月に発表した中期経営計画と連動した株式報酬の提供を行っています。既に一定の株式シェアを役員陣で保有していることを踏まえ、現時点ではさらなる株式報酬に関する検討は行っておりませんが、役員報酬の形に関しては継続的に議論していきたいと考えています。株価についてご心配をお掛けしてしまっておりますが、継続的な成長を図っていくこと、そしてM&A等を通じて成長スピードを上げることを通じて企業価値を向上させ、それによる株式価値の上昇を目指すことで株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えています。

日本金融経済研究所の新理事にご就任されるとの事ですが、まずは自社の株価対策に時間を使うべきではないでしょうか。  
結果的に貴社の認知度向上に繋がる可能性はあるため、ポジティブな取り組みなのかもしれませんが、経営方針開示後の株価低迷の影響を受けている株主としては違和感を感じます。

配当方針の見直しや自社株買いも具体的に検討すべきではないかと思えますし、本来は減益を安易に認めるのではなく、CFOと企業価値の番人として売上成長と利益成長の両立に向けてもっと知恵を絞るべきではないでしょうか。  
株価推移を見る限り、多くの株主は規律ある利益成長を求めていると思えます。



株式会社うるるIR

♡ 0

日本金融経済研究所は「日本をもっと分かりやすいIRの世界へ」をミッションとして掲げており、この度ご縁をいただいて近藤個人が理事として就任する機会をいただきました。私自身がIR活動を行っていく中で、機関投資家と個人投資家が得られる情報格差といった課題を感じていたのですが、日本金融経済研究所はそのような課題を解消するための仕組み作りを行っている組織であり、微力ながらそれに貢献したいと考えています。また、その活動を通じて、うるるの経営に活かせる何かを得られればとも考えています。（ちなみに、この質問箱も投資家間の情報格差を埋める目的で行っています）  
現在開示している中長期方針のもと、売上高および利益ともに每期継続的に成長させていくことで、中長期で企業価値・株式価値を向上させていき、加えて利益成長による累進配当を目指していきたいと考えています。具体的な中長期方針やキャッシュアロケーションに関する考え方は、2025年3月期 第1四半期 決算説明資料のP.39-46をご覧ください。  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym2/161891/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/3979/ir_material_for_fiscal_ym2/161891/00.pdf)

日本金融経済研究所の理事に就任されて「機関投資家と個人投資家の情報格差を解消するための仕組みづくりや、個人投資家と企業のあるべきコミュニケーションの仕組みづくりのナレッジ共有」でお力添えされるとのニュースがありましたが、何よりもまずは貴社の株価対策に注力すべきではないでしょうか。



株式会社うるるIR

♡ 0

日本金融経済研究所は「日本をもっと分かりやすいIRの世界へ」をミッションとして掲げており、この度ご縁あって近藤個人が理事として就任する機会をいただきました。私自身がIR活動を行っていく中で、機関投資家と個人投資家が得られる情報格差といった課題を感じていたのですが、日本金融経済研究所はそのような課題を解消するための仕組み作りを行っている組織であり、微力ながらそれに貢献したいと考えています。また、その活動を通じて、うるるの経営に活かせる何かを得られればとも考えています。（ちなみに、この質問箱も投資家間の情報格差を埋める目的で行っています）

peingで質問を受け付ける取り組み自体は有難いのですが、むしろマイナスになっているのでは？と感じる事があります。  
株主からの声を踏まえた上で、具体的なアクションに移すか、それが難しければ具体的な方針や考え方（どのような条件が満たされれば、配当性向の見直し・自己株式の取得・NJSS以外の月次情報の開示を行うのかなど）を示されてはいかがでしょうか。  
やむを得ない部分もあるかと思いますが、当たり障りのない回答ばかりでアクションに移さないのであれば、peingの取り組みも逆効果になってしまうのではないのでしょうか。



株式会社うるるIR

♡ 0

質問箱にて匿名で質問を受け付けてオープンに回答することによって、機関投資家と個人投資家との質疑機会の差、そして電話やメールといった1to1コミュニケーションから発生する情報格差を減らすことができるという考えの下、この取り組みを行っています。当社が行う事業や方針の理解の促進などに役立てていただければ幸いです。なお、この取り組みはトライアルという位置づけであるため近藤個人のアカウントで行っており、今後中止する場合がございます。

peingは広告が多すぎて見づらいのですが、何か他の媒体に切り替えられませんか？



株式会社うるるIR

♡ 0

た、確かに.....、他の良いツールが無いか探してみます。なお、いただいたご質問および回答は、後日まとめてTDnetにて開示し、合わせてQA Station上に記載予定です。<https://www.qastation.jp/9f62ef3e6cb24d48a30a6510285206fb>

## ■ 投資家・アナリストの皆さまより頂戴した主要なご質問

質問	回答
広告宣伝費を投下するペースは？	上期に積極的に投下し、下期は抑制する方針です。
NJSS の従業員が特に増加しているが、どの職種が増えているのですか？	NJSS にはエンジニア、営業、カスタマーサポート、マーケティングの職種がある中で、営業(IS、FS、CS)人員が特に増加いたしました。

以上

### 【うるるグループ 概要】 株式会社うるる (<https://www.uluru.biz/>)

設立：2001年8月31日

所在地：東京都中央区晴海3丁目12-1 KDX 晴海ビル9F

代表者名：星 知也

事業内容：

- ・電話代行サービス「[fondesk \(フォンデスク\)](#)」
- ・入札情報速報サービス「[NJSS \(エヌジェス\)](#)」 「[nSearch \(エヌ・サーチ\)](#) ※1」
- ・幼稚園・保育園向け写真販売システム「[えんフォト](#)」
- ・出張撮影サービス「[OurPhoto \(アワーフォト\)](#) ※2」
- ◆クラウドソーシング事業
- ・プラットフォーム「[シュフティ](#)」の運営
- ◆BPO 事業 ※3
- ・総合型アウトソーシング「[うるる BPO](#)」
- ・高精度の AI-OCR サービス「[eas \(イース\)](#)」
- ・障害者雇用トータル支援サービス「[eas next \(イースネクスト\)](#)」

※1 株式会社ブレインフィードにて運営

※2 OurPhoto 株式会社にて運営

※3 株式会社うるる BPO にて運営

### ■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社うるる 担当：近藤、佐藤

TEL : 03-6221-3069 E-Mail : [ir@uluru.jp](mailto:ir@uluru.jp)